

# 続・ふるさと こばれ話

## 祖母井東宝物語①

第58回



▲祖母井東宝の入口  
「うばがい」祖母井自治会発行より

祖母井西町の県営祖母井住宅の北側に大谷石塀で囲まれた広い駐車場がある。そこは、昭和26年から38年ごろまで、多くの人々に愛された映画館「祖母井東宝」の跡地である。オーブン当時は祖母井劇場と称し、こけら落としは小唄勝太郎の歌謡ショードだった。

写真を見ると、切符切りの窓口の上にゲイ

リー・クーパーとイング

リッド・バーグマン主演の「誰がために鐘は鳴る」

のポスターが貼られ、映画館名を示す旗がなびいている。ここでは毎日2・3本立ての映画と、年数回の歌謡ショードを行っていた。

当時、映画は娯楽の王様であり、全盛期でもあった。昭和32年には芳賀郡市内に11の映画館があった。

この波に乗り遅れまいと、古谷肥料店など数人が株主となり「芳陽社」という荒縄などの蔓製品を生産している工場の倉庫を改造して劇場を立ち上げた。余談だが、芳陽健氏が就任した。

■新年あけましておめでとうございます。皆さんそれぞれに良いお正月をお迎えのことと思います。曜日の関係で、年末始が長期休暇という人も多いのではないかでしょうか。

□私事ですが、今年は「前厄」になります。もうそんな歳か…と思いながら、きちんと厄除け祈願をしてこようと思います。

■本年も「広報はがき」をよろしくお願いいたします。

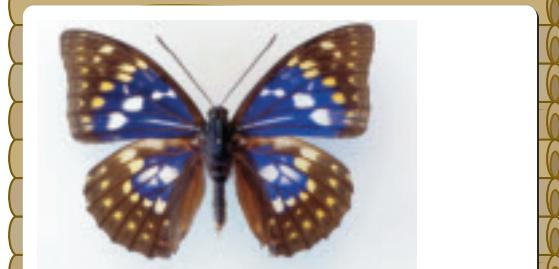


▲小倉さん家のイルミネーション(祖母井)

- 編集 芳賀町広報広聴委員会  
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp  
■発行 芳賀町企画課  
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地  
■芳賀町ホームページアドレス  
<http://www.town.haga.tochigi.jp>

④芳賀町の携帯サイトはコチラから▶

### 編集後記



オオムラサキ チョウ目タテハチョウ科

(写真提供=芳賀町自然に親しみ会)

分 布=北海道南部から九州

生息地=山地から平地の林

時 期=6~7月

特 徴=1957年昆虫学会総会で日本の国蝶

に選定された。さなぎはエノキの落ち葉の下で越冬する。

食 性=エノキ・エゾエノキ(幼虫)

成虫はクヌギなどの樹液を吸う。

大きさ=開張(羽を広げた最大値) 75~100mm



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した  
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA: 環境保護印刷推進協議会  
<http://www.e3pa.com>